

高松塚古墳墳丘整備の在り方に関する調査について

奈良文化財研究所

1. 調査の目的と内容

■ 目的

国宝高松塚古墳壁画は、平成17年度に決定された「恒久保存方針」に基づき、平成19年度に石室ごと解体された。現在、壁画は国営飛鳥歴史公園内にある国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設において、10年を目途に修理作業が進められている。それとともに、古墳墳丘についても、平成21年度に仮整備が行われたところである。

壁画の修理後の当分の間の保存の在り方については、古墳壁画の保存活用に関する検討会(以下、「検討会」という。)において議論が重ねられ、平成26年3月に「高松塚古墳の保存管理の経緯と壁画修理後の当分の間の保存の在り方について」が決定され、その中で、墳丘の整備の在り方について検討することとされたところである。

本調査においては、高松塚古墳墳丘整備の在り方について調査を行い、検討会での議論に資することを目的とする。

■ 内容

- (1) これまでの高松塚古墳に関する調査の成果と課題を整理する。
- (2) 国内外の古墳等について、高松塚古墳の保存・活用に関して参考となる事例を調査する。
- (3) (2)の結果、及び高松塚古墳に関する取組を参考に、適当と思われる整備案について提案する。
 - ① 高松塚古墳の整備後の形状に関する提案
 - ② 高松塚古墳の整備における工法の提案
 - ③ 高松塚古墳の整備後の維持・管理及び活用に関する提案
- (4) 高松塚古墳に関する考古学的調査の成果を反映した保存・活用方策について提案する。



高松塚古墳の現況

2. 調査報告書の構成（素案）

1. 高松塚古墳とその周辺の現状
 - （1）高松塚古墳の保存管理の経緯と現状
 - （2）高松塚古墳の調査・研究の成果
 - （3）周辺環境（国営公園等）の現状
 - （4）関連する飛鳥地域の遺跡
2. 古墳等の保存活用に関する事例調査
 - （1）日本における古墳整備の略史
 - （2）国内の事例調査
 - （3）韓国の事例調査
3. 整備上の課題と諸条件の整理
4. 整備の基本方針
5. 墳丘及びその周辺の整備（案）
6. 考古学的調査成果の保存・活用方策（案）
7. 資料

3. 国内外の古墳の保存・活用に関する事例調査の進捗状況

○9月9～10日

武蔵府中熊野神社古墳（府中市）・保渡田古墳群（高崎市）・埼玉古墳群（行田市）

○10月12日 韓国

掛陵（慶州市） 新羅文化遺産研究院からの招聘と合わせて調査

○10月27～29日 韓国

陵山里古墳群（扶余邑）・陵安里古墳群（扶余邑）・昌寧校洞古墳群（昌寧郡）・
宋山里古墳群（公州市）・

ヒアリング：国立扶余文化財研究所・文化財庁保存政策課

○10月28～29日

大室古墳群（長野市）・森将軍塚古墳（千曲市）

○11月20～21日

西谷墳墓群（出雲市）

○11月25～26日

有岡古墳群（善通寺市）・葉佐池古墳（松山市）・妙見山古墳（今治市）

○11月26～27日

生目古墳群（宮崎市）・西都原古墳群（西都市）